

「令和 8 年度外国につながる児童生徒の保護者を対象とした日本語学習支援事業業務委託」  
公募型プロポーザルによる事業者選定結果について

1. 案件名称

令和 8 年度外国につながる児童生徒の保護者を対象とした日本語学習支援事業業務委託  
(契約期間:契約締結日から令和9年3月 31 日まで)

2. 選定した実施予定事業者

グローバル育成協議会(代表構成員:学校法人エール学園)

3. 公募期間

令和7年 12 月 17 日から令和8年 2 月 2 日

4. 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿

役職等	委員名
大阪産業大学 教授	新矢 麻紀子
大阪大学 特任講師	今井 貴代子
中小企業診断士	岡島 卓也

(2) 選定委員会の開催日

第1回:令和7年 12 月 10 日(水)

第2回:令和8年2月 26 日(木)

(3) 選定基準

評価項目	審査内容	配点
事業理念	・ 本事業の目的を十分に理解し、その実現に資する方針や内容が示されているか。	5
企画内容	・ 具体的かつ実現可能なスケジュールが提案されているか。 ・ 学校文化の理解につながる内容および基礎的な日本語習得ができる内容となっているか。 ・ 実施教室数や受け入れ定員が十分に確保され、事業対象者に対して必要な学習機会を提供できているか。 ・ 事業対象者のニーズに合った実施日程・時間・会場・受講料等が設定されているか。 ・ 指導人員の資格や人数等、教室の指導体制は十分か。 ・ 現状および課題の把握方法、課題の事業内容への反映方法は適切であるか。 ・ 効果検証の手法や内容、検証に基づいた改善手法は適切であるか。 ・ 事業対象者に効果的にアプローチできる具体的な広報方法が示されているか。 ・ 申込受付・受講者の決定・受講者への対応等は適切であるか。 ・ 事業対象者の学習意欲を高めるための仕組みや創意工	50

	夫が十分に盛り込まれた内容であるか。 ・発注者および学校等関係機関との連携は十分図られているか。	
事業実施体制	・事業を実施するために必要かつ十分な人員配置となっているか。 ・個人情報の保護及び管理体制は適切かつ十分に整っているか。 ・リスク管理(安全管理・緊急時の対応)体制は十分に整っているか。 ・個人情報保護および人権に関する研修内容は適切かつ十分であるか。	20
事業実績	・類似の事業実績があり、事業の実施に足る専門性やノウハウを有しているか。	15
事業経費	・経費見積額は、提案内容に対して適正であるか。	10
合計(委員1名あたり)		100

(4) 審査を行った事業者

- ・ グローカル育成協議会 全1者

(5) 審査の結果(選定委員の評価点の合計点:300点満点)

基準項目	A 団体
事業理念	12
企画内容	92
事業実施体制	46
事業実績	20
事業経費	21
合計	191

(6) 附帯意見

- ・ 大阪市内立学校の特性や現状、教育環境等の理解・把握および外国につながる児童生徒の現状・課題についての研究を一層深め、その結果を踏まえて内容・手法を適切に設計し、効果的な事業実施に努められたい。
- ・ プログラムの開発にあたっては、小学校の低学年のみならず高学年および中学校にも応じた内容を取り入れるよう留意して開発されたい。
- ・ 大阪市識字・日本語教育基本方針をはじめ、大阪市における関連施策・支援制度の有無や内容を改めて調査・整理した上で、それらを適切に活用・連携し、より効果的な事業実施に努められたい。
- ・ 日本語学習の支援にとどまらず、対象者が抱える生活上の困りごとや多様な課題を的確に把握し、関係機関とも連携の上、必要な支援につなげる相談体制の構築・充実に努められたい。
- ・ 事業従事者に対する継続的な研修の実施・フォローアップを含む研修体制の構築・充実に努められたい。
- ・ 広報においては、チラシ配布のみにとどまらず、SNS等インターネットツールや自団体が有するネットワークを積極的に活用した周知・情報発信を行うとともに、そのための必要経費を適切に配分し、効果的な広報周知に努められたい。